




～兵庫県立相生産業高等学校「ふりカキ」が大賞～ 「商業高校フードグランプリ 2018」 受賞校発表



伊藤忠食品株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長・社長執行役員：岡本均、以下：当社）は全国の商業高校生がプロデュースする“食”の商品コンテスト「商業高校フードグランプリ 2018」の本選を9月28日（金）・29日（土）の二日間、K I T T E丸の内にて行いました。

「商業高校フードグランプリ」は、コンテストを通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の継承に寄与することを趣旨として2013年度より開催しています。高校生が地域の特産品を使ってメーカーと共同開発した商品を募集し、応募総数39校・54品エントリーのなかから予選を通過した、7校7商品が本選に出場しました。会場では、接客・販売やステージで商品をPRするプレゼンテーションを行いました。9名の審査員による審査と来場者の投票の結果、以下の通り大賞および各賞が決定いたしました。

【審査結果】

賞名	学校名・商品名など	商品画像
大賞	兵庫県立相生産業高等学校 「ふりカキ」	
	<p><商品説明> カキを蒸した際に出る濃厚なエキスを、カツオのフレークに浸み込ませました。さらに、乾燥したカキ身も入っており、いつでも手軽においしくカキの味を楽しむことができます。製品化されていなかった部材を活用し、地域貢献にもなっています。ご飯のふりかけ、冷奴、麺つゆなど味のアクセントになります。</p> <p><評価ポイント> 加工時に捨てられていたカキのエキスを活用したことが今回のテーマである「地域活性化」に最も合致している点が高く評価されました。</p>	

賞名	学校名・商品名など	商品画像
特別審査員賞	<p align="center">三重県立水産高等学校 「カツオのハム」</p>	
	<p>＜商品説明＞ 地元志摩市を元気にしようと、ゆくゆくは地元特産のカツオを利用できるような商品を開発。お刺身に出来るほど鮮度抜群なカツオを赤ワインとハーブで漬け込み、桜の木でいぶしております。</p>	
	<p>＜評価ポイント＞ カツオのくせが無く本物のハムのように食べやすく、アレンジも効くことが評価されました。</p>	
特別審査員賞	<p align="center">山梨県立ひばりが丘高等学校 「すりだね」</p>	
	<p>＜商品説明＞ 山梨県立ひばりが丘高校うどん部が本気で作成した富士吉田の伝統辛味調味料「すりだね」。うどん、そば、ラーメンのような汁物はもちろん、肉料理やパスタにも使える便利アイテム。</p>	
	<p>＜評価ポイント＞ 新しいものを作るのではなく、地元でなじみのある品を全国に広めることも地域貢献、とコメント頂きました。</p>	
プレゼンテーション 優秀賞	<p align="center">仙台市立仙台商業高等学校 「仙臺みそギモーヴ」</p>	
	<p>＜商品説明＞ フランス発のマシュマロに仙臺の伝統的な調味料である仙台味噌を加え、新感覚のデザートに仕上げました。噛めば噛むほど味噌の味が増し、ふわもち食感で何度も手をのばしたくなってしまいうましさ。</p>	
	<p>＜評価ポイント＞ 商品の魅力だけでなく、地元貢献度についても簡潔に伝えられていたプレゼンテーションの完成度の高さが評価されました。</p>	
※NHK Eテレ #ジューダイ賞	<p align="center">北海道札幌東商業高等学校 「やみつきにんにく味噌だれ」</p>	
	<p>＜商品説明＞ 「ラム肉のちゃんちゃん焼き」を広める活動が縁で生まれた、にんにくが特徴の味噌だれ。にんにくを贅沢に配合し、ラム肉のちゃんちゃん焼きをはじめ、野菜スティック、冷しゃぶ、餃子などによく合います。</p>	
	<p>＜評価ポイント＞ 郷土品を知ってもらいたい、盛り上げたいという純粋なモチベーションを活かしたプレゼンテーションを評価されました。</p>	
来場者賞	<p align="center">仙台市立仙台商業高等学校 「仙臺みそギモーヴ」</p>	
	<p>総得票数3,420票のうち最多得票数の656票を獲得。</p>	

※NHK Eテレ「#ジューダイ」とは、ジューダイ（10代）の情熱、汗、涙、面白そうなこと、ゆる～い感じまで、ジューダイの素顔にトコトン触れ、その本音を聞き出す、ガチロケ番組です。2日間会場にてロケ取材いただき、MCのヒヤダインさん、ぺえさんには、表彰式でプレゼンターとして最も輝いていた10代だと思われた高校に「#ジューダイ」賞を授与していただきました。当日の取材の様子は、10月18日（木）午後7：25～午後7：49／再放送：10月23日（火）午前0：25～午前0：49（月曜深夜）に放映されます。

【大会概要】

- ・開催日時 | 2018年9月28日（金）・29日（土）
- ・開催場所 | 試食販売会場：KITTE 丸の内 東京シティアイ パフォーマンスゾーン
プレゼンテーション審査・表彰式：JPタワーホール&カンファレンス カンファレンスルーム A3
- ・試食販売 | 28日（金）10：30～18：30／29日（土）10：00～17：00
- ・審査 | 29日（土）13：00～14：00
- ・表彰式 | 29日（土）15：00～16：00
- ・来場者数 | 11,111人（2日間）

【審査員】

（特別審査員）

- | | |
|-----------|----------|
| ・タレント、歌手 | 渡辺 美奈代 様 |
| ・美養サラダ研究家 | 宮前 真樹 様 |

（審査員）

- | | |
|--------------------|----------|
| ・HIP-HOPアーティスト | 矢島 愛弥 様 |
| ・アサヒ飲料株式会社 | 近藤 佳代子 様 |
| ・キューピー株式会社 | 江口 陽三 様 |
| ・株式会社主婦の友社 | 前田 起也 様 |
| ・スターフードジャパン株式会社 | 新古 祐子 様 |
| ・一般社団法人地域食プロデュース協会 | 島田 宏樹 様 |
| ・伊藤忠食品株式会社 | 岡本 均 様 |

【審査項目】

- ① 商品の味、食べ方の創意工夫
- ② 商品の独創性、新規性
- ③ 商品のネーミング、パッケージデザイン
- ④ 価格の妥当性
- ⑤ 商品の流通性及び発展性
- ⑥ 商品開発による地域社会への波及効果及び貢献度
- ⑦ プレゼンテーション

【試食販売・プレゼンテーション審査】

今回試食・販売を行ったKITTE丸の内 地下1階にある「東京シティアイ パフォーマンスゾーン」は東京駅と周辺の駅や商業施設を結ぶ、一般の方が多く通る開放された空間です。28日（金）は多くの働く方々や、制服姿の高校生などを中心に、29日（土）は休日ということもあり、家族連れなどさまざまな年代の方にご来場いただき、来場者数は二日間で1万人を超え、終日に渡り賑わいました。

その中で、高校生たちは二日間にわたって、法被や手作りの着ぐるみを身に付け、ご来場いただいたお客様に対して、商品開発の経緯や製造方法、アレンジメニューなどを説明し商品の魅力を伝え、丁寧に接客しました。各校のブースでは、目を引くパッケージの商品や工夫された陳列棚、商品の特徴を説明するパネルなど、それぞれ趣向を凝らし来場者に商品を訴求しました。



テーマにある“地域活性化”に基づき、今回各校は地元の問題解決や、特産品の知名度向上、資源の活用など、地域活性化を目的とした商品を開発し、その経緯や商品特徴などを29日（土）に行われたプレゼンテーション審査で発表しました。身振り手振りや踊り、歌などを交えながら地元や開発商品への熱い思いを審査員に訴えました。



【その他、大会内の企画について】

●高校生に向けた講義の実施

大会前日 27 日（木）には、大会参加校 7 校に向けて、大会に特別協賛いただいているアサヒ飲料株式会社様による特別授業「アサヒ飲料社のマーケティングについて」と当社品質保証部から食品表示に関する講義を実施しました。

●CSR セミナーの開催

28 日（金）11：00～12：00 には、会場のセミナーコーナーにて、CSR 担当者に向けた特別講演を開催。リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 太田康子様をプレゼンターに迎え、「『CSR』・『SDGs』の浸透に向けた議題解決」についてディスカッションを交えて講演を行いました。本大会において、各社 CSR 担当者が意見交換する場を設けることで、商業高校フードグランプリのプラットフォームを活かした CSR マッチングを図りました。

●商品開発セミナーの開催

28 日（金）16：00～17：00 には、商品開発の専門家による商業教育関係者を対象とした特別講演を開催。一般社団法人地域食プロデュース協会 理事 島田宏樹様をプレゼンターに迎え、地域資源を活用した同協会の商品開発事例の紹介や“地域食プロデューサー”を育成する同協会の教育プログラムより、商品開発に必要な知識や考え方について講演を行いました。

【伊藤忠食品の商業高校への教育支援の取り組みについて】

2013 年度より商業高校（商業科目を有する高校）では、新学習指導要領のひとつに「商品開発」が新設されました。当科目は、商品の開発だけでなく流通に必要な知識や技術を体験的に習得することが求められています。食品の中間流通業を営む当社は、本業を活かした CSR（企業の社会的責任）の一環として、人材育成の観点から商業高校の教育支援を行っています。

当社は未来を担う高校生への教育を継続的に支援するとともに、地域活性化に繋がる商品の販売を推進してまいります。この取り組みは、「CSR（企業の社会的責任）」にとどまらず、「若い人材の育成」「地域食文化の継承」という社会と共有できる価値を創造しながら、商業高校が開発した商品を本業の卸売と結び付ける「CSV（共有価値の創造）」の発展を目指しております。

そして、「商業高校フードグランプリ」が本大会にご協力いただいている団体・企業様の CSV 活動にご活用いただけるよう「CSV プラットフォーム」の実現を目標として、今後も社会に必要とされる存在意義のある企業を目指して取り組んでまいります。

【商業高校フードグランプリ及びCSR・CSV活動に関するお問合せ先】

伊藤忠食品株式会社 経営企画本部 経営戦略部 CSVチーム

担当 : 田井／間野

TEL : 03-5411-8513

MAIL : info-fgc@itochu-shokuhin.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ】

伊藤忠食品株式会社 経営企画本部 経営企画部 IR広報チーム

担当 : 平／近藤

TEL : 03-5411-8512

MAIL : s-taira@itochu-shokuhin.co.jp
s-kondo@itochu-shokuhin.co.jp